



2022年11月11日

各 位

会 社 名 デリカフーズホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 大 崎 善 保  
(コード番号 3392 東証スタンダード)  
問合せ先 取締役管理本部長 仲 山 紺 之  
( TEL. 03-3858-1037 )

第2四半期の業績予想と実績値との差異並びに  
通期連結業績予想の上方修正に関するお知らせ

2022年5月12日に公表しました2023年3月期第2四半期(2022年4月1日~2022年9月30日)の業績予想と、本日公表の実績において差異が生じたこと等に伴い、2023年3月期通期(2022年4月1日~2023年3月31日)の業績予想を上方修正することといたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期第2四半期連結業績予想値と実績値との差異(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 差異の内容

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株あたり 四半期純利益
前回発表予想(A)	19,500	65	100	60	4.06円
実績値(B)	23,227	71	114	108	7.32円
増減額(B-A)	3,727	6	14	48	
増減率(%)	19.1%	10.2%	14.4%	80.2%	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期第2四半期)	18,117	△709	△611	△768	△52.02

(2) 差異の理由

2023年3月期第2四半期連結累計期間につきましては新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、中期経営計画「Transformation 2024」での基本方針のひとつである「事業ポートフォリオの変革」を推進し顧客の裾野拡大を図った結果、半期(6ヵ月)としましてはコロナ禍前の水準を上回る過去最高の売上高計上まで回復致しました。

利益につきましては、コロナ拡大影響の他、電気料金・燃料費・原材料価格・人件費などの上昇による諸経費の上昇などの影響もありましたが、売上の伸張並びに仕入・在庫管理強化、人員配置等の効率運営を進めた結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、それぞれ前回予想を上回りました。

2. 2023年3月期通期業績予想数値の上方修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

（1）修正の内容

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株あたり 当期純利益
前回発表予想（A）	40,500	230	300	180	12.19円
今回修正予想（B）	46,500	380	450	390	26.41円
増減額（B-A）	6,000	150	150	210	
増減率（％）	14.8%	65.2%	50.0%	116.7%	
（ご参考）前期実績 （2022年3月期通期）	39,788	△397	△242	△746	△50.57

（2）修正の理由

第2四半期連結累計期間の業績を受けて通期連結業績予想を上方修正しました。その理由は以下の通りです。

売上高につきましては、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大影響の懸念はあるものの、中期経営計画の「事業ポートフォリオの変革」を推進して顧客の裾野を順調に拡大させてきたこともあり、下期も概ね上期並の売上高を確保出来るものと予想しております。また、利益面では、電気料金・燃料費・原材料価格・人件費等諸経費の上昇もありますが、引き続き仕入・在庫の厳格管理、廃棄ロスの削減、人員配置・物流の最適化などの効率化を図ることに加え、お客様への丁寧な説明を実施した上での売価改善の効果も出て来ることから、経常利益ベースで450百万円と150百万円の増加見込みとさせて頂きます。

（注）上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後発生する様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上